

門司港トレインセーリング

現在、門司港の貨物線跡が門司港レトロ観光線として活躍しています。その中でも、開門海峡めかり駅から先にいたる部分が存在しますが、列車などの運行はされておられません。なので、この未使用区間の活用について考えてみました。

開門海峡めかり駅 - 福岡食糧事務所

私は、門司港が海に面しており日々風があることに着目しました。また、門司食糧倉庫跡地は門司港のイベント会場などで使われているのことに着目して、ココの区間にランドヨットを走らせてみてはどうかと考えました。

ランドヨット

ランドヨットというのは、砂浜などの風が強い部分で行う陸上を走るヨットです。通常のヨットと同じく帆に風を受けて走る構造で風がある所で動かします。このため、風力のみで動かすことが可能です。

トレインセーリング構想

トレインセーリング構想は、ランドヨットを線路の上に走らせて一人ひとりが運転を行う遊具として扱います。

まず、ランドヨットは車のように風を受けて自由に操作することが出来る乗り物ですが、これに軌道用の車輪を取り付けて、軌道車として利用します。そうすれば、トロッコ列車と同じような形式で走らせることが出来ます。通常、車両を動かす場合に運行車両のメンテナンスに多額の費用が必要になってきますが、ランドヨットならば費用を抑えることが出来ます。さらに加えて、動力エネルギーが風のため環境に優しいことも良い部分です。

このように新しい観光スポットとして、門司港トレインセーリングはいかがでしょうか。

